

長岡京市第二期環境基本計画について

平成25年3月に長岡京市環境基本計画（平成13年3月）を改定し、策定しました。第一期の計画を引き継ぎ、幅広い視点から環境をとらえた総合的な環境まちづくりのガイドラインであり、環境政策の基本指針として位置づけられています。

長岡京市第二期環境基本計画実施計画について

長岡京市第二期環境基本計画の策定を受けて、より具体的に取り組みを進捗させるため平成26年4月に「長岡京市第二期環境基本計画実施計画」（以下、「実施計画」）を策定しました。

また実施計画においては、長岡京市第4次総合計画（2016年～2030年）で位置づけられている環境面の施策とできるだけ連動させ、整合を図っています。

長岡京市第二期環境基本計画実施計画進捗報告書の目的

- ・実施計画の取り組み成果を「見える化」
- ・市民の環境意識の向上
- ・市の環境関連施策の周知

進捗評価の方法

- ・進捗評価は、事業実施課が自己評価を行います。
- ・評価は、下記を目安として行います。

<評価の目安>

	数値目標	定性の目標
◎	目標数値を達成	目標の状態に達している
○	目標数値の7割以上達成	目標の状態に完全には達していないがおおむね達成していると判断できる
△	目標数値の7割未満の達成	前年度より進捗している
×	目標に達するための取り組みをしていない	前年度から取り組んでいない

進捗評価の活用

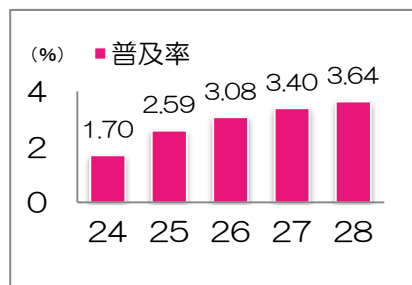
- ・生活環境審議会は、必要時には、市長に対し施策の提言を行います。
- ・各事業課は、進捗が遅れている場合などは、次年度以降の取り組み計画などを見直します。
- ・継続して評価を積み重ね、次期計画改定の際の資料とします。

1. エネルギーを大切にするまちづくり

目標指標 再生可能エネルギーの世帯あたりの普及率

平成28年度の目標	平成28年度の結果
3.35%以上	3.64%

※参考：環境モデル都市 長野県飯田市 8.9%（H28年度末）



(1) 再生可能エネルギーの活用

①家庭、事業所などへの再生可能エネルギーの導入

薪ストーブ設置助成・西山産薪購入助成の実施

平成28年度の目標	平成28年度の結果
薪ストーブ助成件数3台	薪ストーブ助成件数3台
薪購入助成件数800束	薪購入助成件数848束



西山の森林・竹林の整備により間伐された木材の活用を図り、継続的な森林整備と地域資源循環型社会を構築し、地球温暖化防止につなげていくため、薪ストーブと西山産薪の購入に対して助成を行っています。

平成28年度は事業所に1台、個人宅に2台設置された薪ストーブについて補助を行いました。薪ストーブを設置された事業所では、点火式のイベントを実施され、ストーブで焼いたピザも大好評だったそうです。

西山産薪は848束（36件）の補助申請があり、昨年度よりも245束（13件）増加しました。



薪ストーブ

②公共空間における再生可能エネルギーの導入

太陽光発電システムの設置

平成28年度の目標	平成28年度の結果
累計10箇所	累計10箇所



西代里山公園管理棟

市では、公共施設の更新時などにできるだけ省エネルギーに配慮するとともに、再生可能エネルギーの導入も進めています。ここ数年は小中学校で耐震化のための工事が行われており、その際には太陽光発電システムを設置して、環境教育にも活用しています。

平成28年度は西代里山公園管理棟に太陽光パネルと蓄電池を設置し、災害時も電力を供給できる拠点として活用していきます。また平成30年度には長岡第六小学校・新田保育所複合施設の屋上に太陽光パネルを設置する予定です。



<公共施設における太陽光発電システム設置状況>

施設名	最大出力 (kW)	施設名	最大出力 (kW)
バンビオ1番館	10kW	神足小学校	29kW
バンビオ2番館	30kW	長法寺小学校	0.912kW
東第二浄水場	40kW	長岡第五小学校	15kW
西代里山公園	5.46kW	長岡第七小学校	30kW
		長岡第九小学校	4kW
		長岡第十小学校	4kW

薪ストーブの設置

平成28年度の目標	平成28年度の結果
累計4箇所	累計4箇所

長岡京市西部には、市域の約4割を占める西山がありますが、山を健康に維持するために木を間引きしていく必要があります。その木を薪にしてストーブの燃料に利用することで、地域資源の循環につなげる取り組みを進めています。

市の施設では、神足小学校、西山公園グリーンハウス、西山公園体育館に設置されています。平成28年度は西代里山公園管理棟に新たに設置されました。



西代里山公園管理棟の薪ストーブ

- ③住民参加型再生可能エネルギー利用システムの導入
④地域特性等を踏まえた再生可能エネルギー導入の検討

住民参加型の再生可能エネルギー活用の仕組みづくり

平成28年度の目標	平成28年度の結果
他市事例研究	他市事例研究

太陽光発電、自治体PPSやバイオマスエネルギーとしての竹の利活用、マイクロ水力発電について、事業者のヒアリングや先進地視察を行いました。竹チップボイラーの活用状況について淡路市を視察しました。

長岡京市内の公共施設は老朽化により設置が難しい場所が多いのが現状です。そのため今後は、住民参加型の仕組みで再生可能エネルギーを活用する取組みを検討していきます。



- (2) 省エネルギーの推進
①エネルギー効率の改善

中小企業等に向けた改善支援

平成28年度の目標	平成28年度の結果
環境マネジメントシステム認証取得補助件数 累計10件	環境マネジメントシステム取得補助件数 累計8件

中小企業等に向けて運用面で省エネを進めてもらうため、「環境マネジメントシステム」の取得を推進しています。

環境マネジメントシステムとは、組織や事業者が、その運営や経営の中で環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための体制や手続き等の仕組みのことです。導入することで事業活動が見直され、大きく省エネが進むことが期待できます。ISOや京都発のKESなど、外部認証による規格を初めて取得する際の費用に対して、補助が受けられます。

平成28年度は長岡京市商工会が開催した「はじめよう環境経営！KES説明会」に参加し、本市の補助金制度を案内しました。



環境に優しい市庁舎の建設

平成28年度の目標	平成28年度の結果
庁舎検討部会で協議	庁舎検討部会で協議



平成28年度は庁舎検討部会を3回開催し、その協議・検討を経たあと長岡京市庁舎等再整備基本構想（案）において、『経済性・環境性能に優れ、機能的な庁舎』を、新庁舎整備の基本方針の一つとして設定し、パブリックコメントを実施しました。

②持続可能型エネルギーシステムの地域モデルの開発

省エネナビモニター事業の実施

平成28年度の目標	平成28年度の結果
参加世帯電気使用量 前年比平均10%削減	参加世帯電気使用量 前年比平均3%削減



省エネナビをモニター家庭に貸し出し、電力を「見える化」することで日々の電気使用量を意識し、家庭の省エネを推進する事業です。貸出期間中はモニター同士の情報交換や省エネ市民アドバイザーによるアドバイスの場として「意見交換会」を開催し、「楽しく省エネ！」を合言葉に、家庭の省エネを推進しました。

夏の猛暑も影響し、昨年比10%削減という目標は達成できませんでしたが、参加者からは「家族が見えるところに省エネナビを設置したことにより、家族全員が意識するようになった。」「省エネナビは赤、青のランプで表示されるので、常に省エネの意識を持つことができ、とても良かったです。」などうれしい声をいただいています。

③省エネルギーの取組み拡大につながる広報・キャンペーンの展開

夏季・冬季における省エネの呼びかけ

平成28年度の目標	平成28年度の結果
広報紙・HPでの啓発 省エネモニター結果の公表	広報紙・HPでの啓発 省エネモニター結果の公表



長岡京市の温室効果ガス（地球温暖化の原因となる二酸化炭素などのガス）は、家庭と事業所（産業系を除く）から多く排出され、増加傾向となっています。平成28年度も継続して、すぐに取り組める省エネとして「今月のいちエコ」を広報へ掲載しました。また夏季及び冬季の省エネナビモニターへの参加の呼びかけに努めるとともに、その取組みの結果を広報長岡京やホームページで広く公表しました。

(3) エコ建築の普及

①エネルギー効率の高い建築物の整備

エネルギー効率の高い公共建築物の再整備方針の導入

平成28年度の目標	平成28年度の結果
再整備方針の検討	再整備方針の検討



本市では、平成25年に策定した「公共施設マネジメント基本指針」を踏まえ、公共施設検討会議等において「庁舎等再整備基本構想」について協議・検討されました。この「庁舎等再整備基本構想（案）」のなかで「経済性・環境性能に優れ、機能的な庁舎」という方針を示しています。今後も関係各課と連携をとりながら進めていきます。

また建築物の低炭素化として、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、京都府内産や市内産木材等の利活用方針は京都府内すべての自治体で策定されています。



公共施設での緑のカーテン等緑化の取り組み

平成28年度の目標	平成28年度の結果
公共施設での緑化規模拡大	平成26年度11箇所→16箇所
全14校実施	小中学校12校

夏季のエネルギー効率を高めるため、庁舎や出先機関などの公共施設では、できるだけグリーンカーテンやすだれなどを活用し、日中のエアコンの使用量を削減するよう取り組んでいます。

平成28年度は、（公財）長岡京市緑の協会の指導のもと、設置を希望する部署の職員がゴーヤ、琉球アサガオ、洛いもで緑のカーテンづくりを行い、公共施設の16箇所で緑のカーテンを実施しました。



長岡第六小学校のグリーンカーテン

また、小中学校には、教育委員会の協力のもと、長岡京市女性の会がゴーヤの苗を配布され、工事中の学校を除く12校でグリーンカーテンが設置されました。

また、市域全体でグリーンカーテンの取り組みを広げるため、平成25年度から「グリーンカーテンコンテスト」（主催：（公財）長岡京市緑の協会）を開催し、家庭や団体の部門ごとに表彰が行われ、平成28年度の団体部門では長岡京市立長岡第六小学校が最優秀賞を受賞しました。

②エコ建築普及につながる情報の発信

まちづくり協議時の案内の範囲・内容の検討

平成28年度の目標	平成28年度の結果
案内実施	案内実施



「長岡京市まちづくり条例」に基づく開発の事前協議である「まちづくり協議」の際に、開発事業者等に対してエコ建築の普及を促すとともに、市の住宅エコリフォーム補助金の案内に努めました。

③建築物のエコ化につながる仕組みづくり

住宅エコリフォーム助成の実施

平成28年度の目標	平成28年度の結果
助成件数 20件	助成件数 5件



平成28年度から住宅の断熱性能の向上など住宅の環境性能の向上を促進するため「住宅エコリフォーム補助金」制度を開始しました。

制度の開始にあたり、「住宅エコリフォーム」をテーマに環境講演会を開催し、近畿大学岩前篤教授にご講演いただき、56名の来場がありました。また長岡京市商工会建設業部会への説明の実施、広報長岡京、ホームページで制度の周知を図りましたが、助成件数は5件と伸び悩みました。

(4) エコ交通システムの導入

①公共交通利用の促進

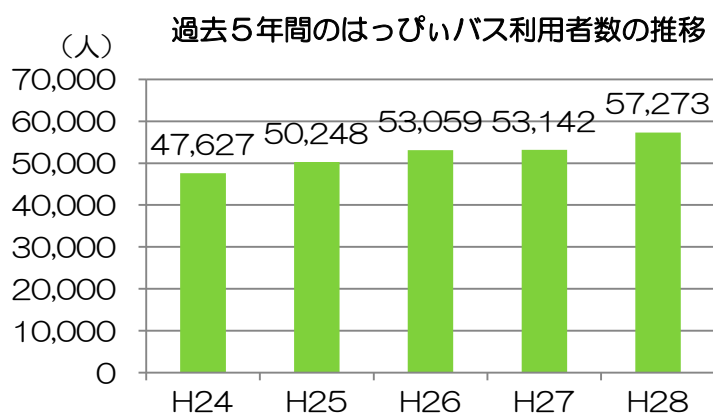
利用啓発及び利便性向上策の実施

平成28年度の目標	平成28年度の結果
はっぴいバス 1便あたりの 利用者数 13.8人	はっぴいバス 1便あたりの 利用者数 13.6人



はっぴいバスは、平成18年10月から市のコミュニティバスとして運行し、平成28年度で10周年を迎えました。高齢者をはじめとする交通弱者の大切な交通手段として、また自家用車の利用を減らし、環境負荷を減らす手段としても、運行当初よりその必要性が増しています。平成26年度からは高齢者の運転免許証の自主返納支援として、はっぴいバス回数券（16回分）等を進呈しています。また平成28年度からは、月曜日から金曜日の祝日に実験運行を実施するなど、更なる利用者増に向けて、沿線自治会等とも協力しながら利用促進を行っています。

このような取り組みにより、平成28年度の利用者数は、昨年度の53,142人から57,273人に増加し、市民の足として定着してきています。



市民の足“はっぴいバス”

②低公害車の導入

公用車への天然ガス、ハイブリッド、電気自動車等の低公害車の導入



平成28年度の目標	平成28年度の結果
導入率 44.0%以上	導入率 57.3%

低公害車とは、天然ガスや電気を燃料とするものやハイブリッド車、低燃費車を含みます。これらの自動車を導入することで、公務に伴う環境負荷を低減するとともに、市民の方への啓発を行っています。

③自動車の排出ガスの抑制

エコドライブ啓発

平成28年度の目標	平成28年度の結果
啓発活動2回 市HPでの情報提供	啓発活動2回 市HPでの情報提供

「地球温暖化防止月間」の12月に、のぼり旗を市役所前に掲出して啓発を行いました。

また、市ホームページを活用し、「アイドリングストップ」「エコドライブ」についての具体的な取り組み方法を常時情報発信し、啓発を行いました。

平成28年度は、今までの取組みに加えて交通安全啓発と併せて市内スーパーで啓発ちらしを配布しました。



④自転車利用の促進

自転車走行空間の整備

平成28年度の目標	平成28年度の結果
160m	170m

平成26～29年度の4か年で市道第4056号線において自歩道（自転車歩行者道）整備事業を進めています。平成28年度は延長170mの整備を実施し、平成29年度には最終年度として、50mの延長を予定しています。

自転車走行空間を整備していくとともに、今後も安全な自転車の利用について啓発を行っていきます。



市道4056号線にある自歩道

⑤電気自動車の充電設備の導入

急速充電器の利用促進

平成28年度の目標	平成28年度の結果
長岡京市役所駐車場 利用台数 80台	長岡京市役所駐車場 利用台数 147台
阪急西山天王山駅 市営駐車場 利用台数 200台	阪急西山天王山駅 市営駐車場 利用台数 370台



二酸化炭素の排出を減らし、大気汚染を防止するため、国の政策として電気自動車の普及促進を行っています。電気自動車の普及に向けた課題として充電設備の不足、インフラの整備があります。そのため、本市では、急速充電器を設置し、来庁者や市営駐車場利用者へ利用を勧奨しています。

急速充電器は、阪急西山天王山駅東側の市営駐車場に1基、市役所駐車場に1基を設置しています。

平成28年度の利用実績は目標を大きく上回っていますが、今後も電気自動車の普及に努めていきます。

2. 資源循環型社会の形成

目標指標 一人一日当たりの収集ごみ量

平成28年度の目標	平成28年度の結果
541.75g	530.97g



(1) 廃棄物の発生抑制・再生利用の推進

① 廃棄物の発生抑制

生ごみのたい肥化促進によるごみの減量

平成28年度の目標	平成28年度の結果
エコ農園の運営箇所維持	エコ農園の運営箇所維持



生ごみをたい肥として活用する「エコ農園」を3箇所（77名利用）で運営しています。家庭で生ごみコンポストを使い、たい肥として利用し、化学肥料をできるだけ使用せずに野菜などを栽培します。

今後は、保育所及び小学校給食の食品残渣の再資源化事業を進めていきます。

② 廃棄物発生抑制、再生利用につながる広報活動の展開

出前講座の実施拡充

平成28年度の目標	平成28年度の結果
実施回数16回／年	実施回数16回／年



廃棄物を適正に分別し、無駄なごみを排出しないために、職員が保育所（園）や学校、自治会などに出向き、出前講座を行っています。

平成28年度は全小学校のほか、保育所・保育園など合計16回実施しました。小さな子どもが分別のやり方などを楽しく学べるよう実際にパッカー車を見たり、デジタル紙芝居を上映したり、ごみについて身近に考えてもらえるよう工夫して講座を実施しました。



出前授業のようす

③廃棄物減量等推進員会議の活動促進

廃棄物減量に伴う研修会及び啓発活動

平成28年度の目標	平成28年度の結果
研修会4回 啓発活動2回	研修会3回 啓発活動1回

廃棄物減量等推進員は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の8に基づき、市が委嘱し、市が実施するごみ減量の取り組みに協力するなどの活動を行います。

研修は、講師を招いての内部研修のほか、京丹後市エコエネルギーセンターでの管外研修を実施しました。啓発活動は、市内7か所のスーパーで「マイバッグキャンペーン街頭啓発」を行いました。



マイバッグキャンペーン
街頭啓発のようす

(2) 資源回収の推進

①分別収集の促進

宅配便回収サービスによる使用済み小型家電の回収量

平成28年度の目標	平成28年度の結果
3.0t	2.1t



使用済み小型家電の回収は、平成24年度に制定された「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」第5条により、市町村はこれを分別し回収するための措置に努めることとされています。

この法律の目的は、廃棄物の適正な処理と小型家電に含まれる希少金属等の再資源化などです。

本市も平成27年度から「小型家電リサイクル法」の認定事業者と協定を結んでおり、平成28年度は2.1tの回収を行いました。

②市民が主体となった資源回収の支援

資源ごみ集団回収助成事業

平成28年度の目標	平成28年度の結果
団体数(86団体)の維持	84団体



資源集団回収活動とは、自治会、老人会、子ども会、その他主に地域住民により構成される団体が中心となって古紙などの資源を集め、それらを回収業者に引き渡してリサイクルを進めていく活動です。対象の資源物は、古紙類(新聞紙、雑誌、ダンボール、牛乳パック、その他古紙類)及び古繊維(古着等)です。これからも地域での主体的な資源回収を支援していきます。

(3) 廃棄物の適正処理

①一般廃棄物等の適正処理

一般廃棄物（家庭系・事業系）を収集し、適正に処理する

平成28年度の目標	平成28年度の結果
一般廃棄物量 21,343.91t	一般廃棄物量 21,520.91t



一般廃棄物量としては、平成27年度の21,877.02tから356.11t削減できました。目標値には及びませんでしたが、平成28年度は家庭系・事業系ともに削減することができました。

②一般家庭用可燃ごみの収集

週2回の収集を実施し、適正に処分する

平成28年度の目標	平成28年度の結果
住民一日一人当たりのごみ排出量 449.48g	住民一日一人当たりのごみ排出量 454.03g



家庭から出る一日一人当たりのごみの量は、平成27年度より8.94g減りましたが、目標より多くなりました。出たごみを減らすことも大切ですが、必要でない物を買わないことも大切です。また、ごみの量を減らすため、特に生ごみなどは水分をよく切って、量を減らすなど、適正な排出を心がけることが必要です。今後も出前授業などを通して、分別や廃棄物減量などの啓発に努めていきます。

③粗大ごみの収集

受益者負担による粗大ごみの適正処理



平成28年度の目標	平成28年度の結果
家庭系粗大ごみ収集量 261.63t	家庭系粗大ごみ収集量 148.08t

家庭系粗大ごみの収集量は、平成27年度と比較して2.77t減少しました。これに対して、市内に粗大ごみが不法投棄されていることも少なくありません。無料回収の業者に安易に引き渡さないようホームページなどに掲載するなど注意喚起を行い、適正な排出を呼びかけています。

④適正処理に向けた広域連携

乙訓二市一町での事務連絡会の開催による処理課題の解決

平成28年度の目標	平成28年度の結果
事業系ごみの排出量 5,347.00t	事業系ごみの排出量 5,865.28t



事業系ごみの増加は、同じ廃棄物処理施設を利用している乙訓二市一町の共通課題です。

本市では、平成27年度実績から42.9t削減されましたが、目標を518.28t上回っています。事業系ごみについては、事業が好転しているときほど廃棄物量が多くなる傾向があります。

また平成28年度に事業系ごみの組成分析を行ったところ、オフィス系では紙ごみなど資源化できるもの、飲食業では食べ残しによる食品残渣が多く入っていました。これからは、これらを減らす取り組みを進めていきます。

(4) 水資源の有効活用・水環境の整備

①雨水利用の推進

雨水タンク設置補助の実施

平成28年度の目標	平成28年度の結果
45基/年	29基/年



雨水タンク設置補助は、平成19年度から実施しており、平成28年度は新たに29件の設置があり、これまでに計408件の雨水タンクが設置されました。

また水循環基本法に基づく「雨水再利用促進」の取り組みの一環として、8月1日に水の日イベントとしてバンビオ地下雨水再利用施設の見学会を実施したところ約120名の参加がありました。

②水を大切にするライフスタイルの普及啓発

水だよりの発行

平成28年度の目標	平成28年度の結果
3回発行/年	3回発行/年



水だよりでは、水質検査の結果や水道施設の状況等をお知らせするとともに、水を大切に考えてもらうための内容やイベント情報などを掲載しています。



③下水道事業の推進

小中学校に雨水貯留浸透施設を整備

平成28年度の目標	平成28年度の結果
1校	1校



平成25年度に策定した水循環再生プラン事業の整備計画、平成26年度の詳細設計に基づき、平成27年度は長岡第十小学校の雨水貯留施設1基、雨水浸透ます9基を整備しました。平成28年度には長岡第九小学校と長岡第四中学校の実施設業務委託が完了し、平成29年度には長岡第四中学校に雨水貯留施設1基、雨水浸透ますを7基整備する予定です。

計画の目的

雨水の貯留浸透施設の新設や、既存の水循環機能を保全・整備し、かつての健全な水循環を再生することで、近年の集中豪雨による浸水被害リスクを軽減します。また、水資源を効果的に活用して、地下水の保全や日常生活での利用につなげることを目的としています。

10年降雨確率に対する雨水対策整備率

平成28年度の目標	平成28年度の結果
67.7%	65.9%



今里地区（風呂川排水区）において、水路改修工事を完了し、浸水被害の軽減に努めました。ただ、市の中心部である犬川排水区においては、関係機関との協議が予定通り進まず、雨水排水区の事業認可変更を実施することができませんでした。今後も関係機関との協議を進め、事業認可変更を実施します。その他雨水排水区については、京都府いろは呑龍南幹線の一部供用開始に向け、整備を進めています。

※10年降雨確率に対する雨水対策整備率とは…

おおむね10年に1回の大雨を想定し、下水道施設の整備を行います。このような下水道整備ができた区域の比率をいう。